

コーンオーバルマフラー 取扱説明書

(競技専用) (弊社 DOHC シリンダーヘッド専用)

製品番号 04-01-0036

適応車種 モンキー・ゴリラ
(弊社 DOHC シリンダーヘッド搭載車)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。
このマフラーはレース専用パーツとして設計、製造した物です。一般公道での使用は出来ません。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎サイレンサーの使用状況により、焼け色が付く可能性があります。
- ◎当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両又は、弊社以外のシリンダーヘッド搭載車、ノーマルのシリンダーヘッド搭載車には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

～特徴～

- サイレンサーの形状をコーン型オーバルとし、車両のカスタムイメージを高めます。
- 経年変化が起りにくいサイレンサー構造で静粛性が高く、高性能を実現しています。
- エキゾーストパイプ及びサイレンサーは SUS (ステンレス) を使用し、耐食性、耐久性を向上させ、表面にはポリッシュ研磨を行っております。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

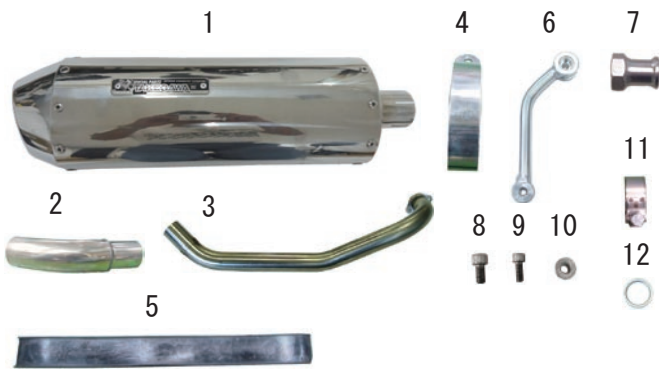
- 作業等を行う際は、必ず冷間時 (エンジンおよびマフラーが冷えている時) に行ってください。(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- 製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)
- ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適切な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- 製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)
- ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、酸化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1 ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

製品内容



番号	部品名	個数	リペア品番
1	サイレンサー COMP.	1	18400-00R-R00
2	マフラーパイプ	1	18300-GEF-T01
3	エキゾーストパイプ	1	18200-4SC-T00
4	サイレンサーバンド	1	00-04-0115
5	サイレンサーバンドラバー	1	00-04-0034
6	サイレンサーステー	1	18500-GEF-T00
7	ピボットナット	1	00-04-0004
8	ソケットキャップスクリュー 8x25	1	00-00-0075 (4ケ入り)
9	ソケットキャップスクリュー 10x20 (P1.25)	1	00-00-0350 (2ケ入り)
10	プレーンワッシャ 10mm	1	00-00-0151 (10ケ入り)
11	エキゾーストパイプバンド 44-47mm	1	18373-T04-T00
12	エキゾーストパイプガスケット	1	00-01-0064 (2ケ入り)
	誓約書	1	

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。
品番発注でない場合、受注出来ない場合があります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

■取り付け要領 ※記載の無い取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

弊社 DOHC シリンダーヘッド搭載エンジンを前提の取り付け要領になります。

マフラー取り付け

☆取り付け要領の説明の為、イラスト及び写真等は、本パーツ及び車両と異なる部分があります。予めご了承下さい。

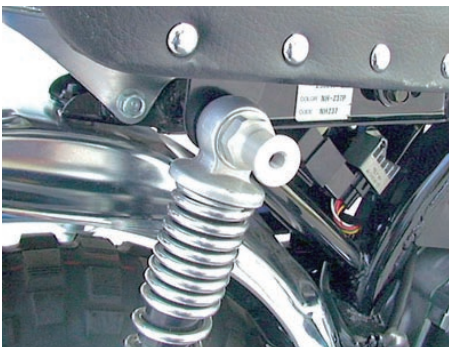
1. メンテナンススタンド等で車両を安定させます。

▲警告：水平な場所で車両を安定させる事。

2. 新品のエキゾーストパイプガスケットを EX ポート部に取り付けます。

3. 右側リアショック上部のナットを取り外し、キット内のピボットナットを取り付け、規定トルクで締め付けます。

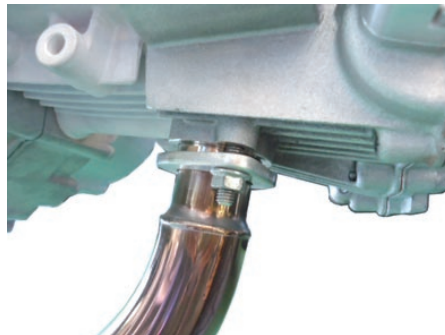
▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ピボットナット
トルク：34N・m (3.5kgf・m)



4. マフラーステーをピボットナットにソケットキャップスクリュー M8x25 を用いて仮締めします。



5. エキゾーストパイプをシリンダーヘッドエキゾースト側に差し込み、STD ナットを用いて仮締めします。



6. エキゾーストパイプジョイント部に耐熱ガスケット材を薄く塗布します。
スリーボンド 1207B 相当品
ロックタイト 5699 相当品



7. エキゾーストパイプにマフラーパイプを差し込みます。

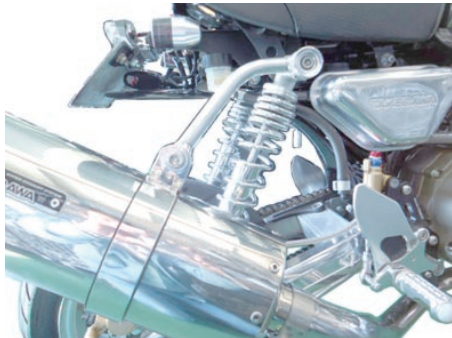
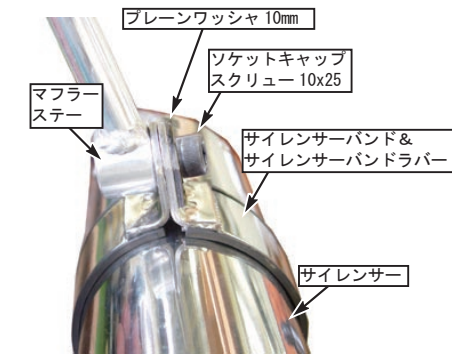


8. サイレンサー COMP. にエキゾーストパイプバンドを差し込み、サイレンサーを取り付けます。

※排気漏れを防ぐ為、差込口には液体ガスケットを塗布して下さい。
スリーボンド 1207B 相当品
ロックタイト 5699 相当品



9. サイレンサーバンドを付属のソケットキャップ
ブスクリュー 10x25、ブレンワッシャ 10mm
を取り付けます。



10. シリンダーヘッド EX ポート部の STD ナット
を均等に規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ナット
トルク：10 ~ 12N・m (1.0 ~ 1.2kgf・m)



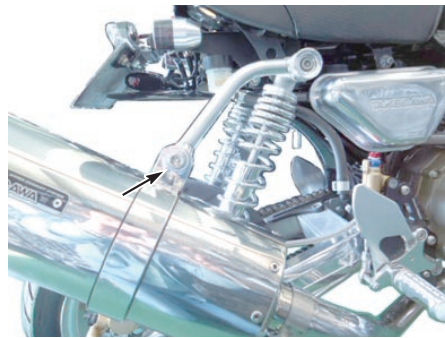
11. マフラスター上部のソケットキャップ
ブスクリュー 8x25 を規定トルクで締め付けま
す。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップブスクリュー
トルク：23N・m (2.3kgf・m)



12. サイレンサーバンド部のソケットキャップ
ブスクリュー 10x25 を規定トルクまで締め付けま
す。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップブスクリュー
トルク：30N・m (3.0kgf・m)



13. サイレンサージョイント部のエキゾースト
パイプバンドを締め付けます。
※バンド (44-47mm) のネジ部には焼き付き防止
の為、潤滑油又は焼き付き防止剤を少量塗布
する事を推奨します。
焼き付き防止剤

：アルミスペシャル 00-01-0001

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
エキゾーストパイプバンド
トルク：15N・m (1.5kgf・m)



14. サイレンサー部のプレート及び保護フィルム
を剥がします。
15. キックスターターアームを踏みおろし、干渉
が無いを確認します。
16. マフラーに付着した汚れをよく拭きとります。
17. エンジンを始動させ、排気漏れの有無を確認
します。

▲警告：必ず換気の良い場所で行う事。